アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か、別紙（黄色用紙）のご相談窓口にお問い合わせください。

■サービスを依頼される前に

「故障・異常の見分け方と処置方法」項を参照して、もう一度ご確認ください。
確認の上それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1)品　　名：日立ガスこんろ　　(3)現象：詳しく
2)形式の呼び：GHE-18G　　(4)道順：目印も

■転居される場合

ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。なお、この製品はガス種が変る場合は改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談ください。（但し有料となります。）

■保　証

●この商品は保証書付きです。保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
●保証期間はお買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

●当社は、このガスこんろの補修用性能部品を、製造打切後5年間保有しています。
●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコーくらしのダイヤル――家電品のお買物相談は…
0120-312111
（フリーダイヤル・無料　年中無休9～20時　東京で受信）

日立家電販売株式会社
株式会社 日立ホームテック
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号
電話(03)502－2111

日立ガスこんろ保証書　出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ本書をご提示ください。

※形名	GHE-18G	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒 様	
※販売店	住所 店名	電話（　）	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常ガス圧、指定外ガスでの使用による故障または損傷。
ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
ヘ)本書のご提示がない場合。
ト)本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
チ)ご転居等による熱量変更に伴う改造。
2. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

●修理メモ
……
……
……

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

日立家電販売株式会社
〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)502-2111

取扱説明書

［保証書付
裏表紙が保証書になっています］

HITACHI
―― 品質を大切にする〈技術の日立〉 ――

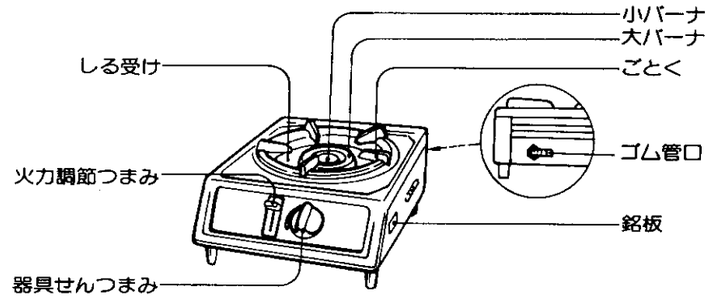
日立ガスこんろ

GHE-18G

正しく使って上手に節約

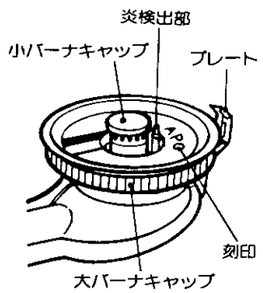
このたびは、日立ガスこんろをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、「ご相談窓口一覧表」とともに、大切に保存してください。

各部の名称



〈立消え安全装置付〉

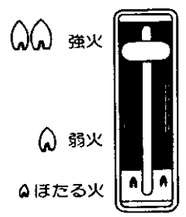
炎検出部でバーナーの炎を検出し、ガス通路の弁を開閉します。



大バーナキャップを取付ける際は、バーナキャップ上面の「刻印」をプレート位置方向に合わせてください。

〈とろ火コントロール〉

おかゆ、煮こみ料理に適した小火力の「ほたる火」調節が、容易にできます。



特に注意していただきたいこと

使用ガスについて

器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

(例)

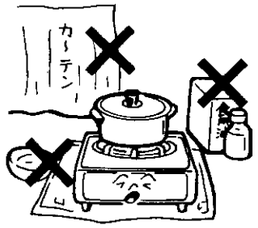
LPガス用

都市ガス用(6B・7C)

●都市ガスには13種類あります。
(仕様項参照)

火災予防

❶器具の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。



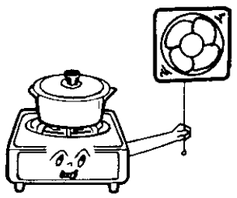
❷火をつけたまま器具の使用場所をはなれないでください。特に天ぷら揚げをしているときは危険です。

❸火をつけたまま、お出かけ、おやすみは、絶対にしないでください。

換気のご注意

ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分注意してください。

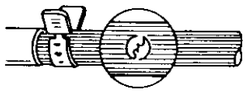
閉め切った部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。



●他の燃焼器具を同時に使用しますと、特に酸素不足になりますので、ご注意ください。

ガス事故防止

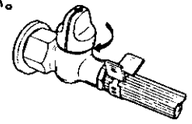
❶ゴム管は、新しいガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
ビニル管は熱に弱く、弾力性もありません。



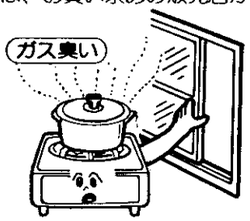
●ゴム管は、少なくとも1ヶ月に1回は点検し、ひび割れしたり、弾力がなくなったりしている場合は、新しいものと交換してください。

❷使用時の点火・消火のほか、使用中にもときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

❸使用後は、必ず器具せんつまみを「止」位置にし、消火したことをお確かめください。
また、お出かけや、おやすみの際には、必ずガス元せんも閉じてください。



❹ガス漏れに気付いたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、漏れの原因を調べてください。
おわかりにならないときは、お買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。



❺万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具のスイッチの入・切はしないでください。火や火花でガスに引火し、爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

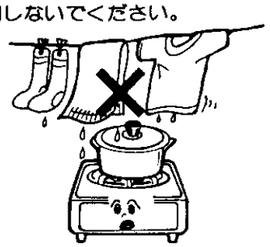
❶万一異常燃焼を起こしたときや緊急の場合は、あわてずに器具せんとガス元せんを閉じ、消火してください。

❷煮こぼれは、バーナー部や器具を早くいためますので、十分注意してください。
万一、バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外してブラシなどで掃除してください。
煮こぼれで目詰りしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損するおそれがあります。

使用上の注意

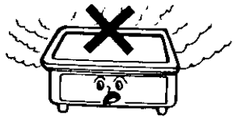
❶調理以外の用途(炭・練炭おこし等)には使用しないでください。
過熱や異常燃焼による焼損・火災などの危険があります。

❷衣類の乾燥などに使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災になることがあります。



❸使用中や使用直後は、器具の各部分が高温になっておりますので、つまみ以外の部分には手など触れないでください。

❹こんろを覆ってしまうような不良補助具や、大きな鉄板・陶板類、市販のガス節約器、上のせてんぷらなどは使用しないでください。
不完全燃焼による中毒・過熱や異常燃焼による器具の焼損・火災等の危険があります。



❺火のついたまま持ち運ばないでください。(転倒すると危険です)

❻市販のアルミ箔のマット(ガスマット)は、使用しないでください。
燃焼が悪くなることがあります。

仕様

品名		こんろ(日立ガスこんろ)	
形式の呼び		GHE-18G	
種類		ガス一口こんろ	
点火方式		圧電点火	
外形寸法		高さ157mm×幅295mm×奥行405mm	
重量		3.3kg	
使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量	ガス接続
都市ガス用	5C	3,260kcal/h	呼び寸法 9.5mm 都市ガス用 ゴム管
	6C	3,610kcal/h	
	6B	3,610kcal/h	
	7C	3,730kcal/h	
	12A	3,370kcal/h	
	13A	3,610kcal/h	
LPガス用		0.301kg/h	呼び寸法 9.5mm LPガス用ゴム管

器具の設置

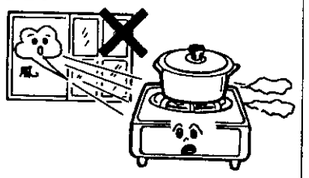
器具は次の要領で安全な位置に正しく設置してください。

設置前の準備

1 設置場所について

❶次のような場所には設置しないでください。

- ●風の吹き込むところ。
- ●棚の下などで落下物の危険のあるところ。
- ●カーテンや燃えやすいものの近く。



❷家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所に設置してください。

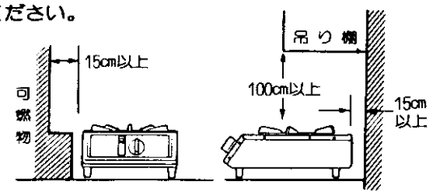
❸換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。

2 組立て

各部分の包装部材を取り除き、「各部の名称」項を参照して、本体を正しく組みたててください。

3 周囲の防火措置について

器具は可燃物(壁面など)から15cm以上離して設置してください。

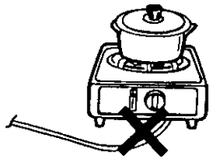


●ピッタリ付けて設置しますと、壁面などの温度が上がり、危険です。
また、上部に吊り棚などがある場合は、器具上面と吊り棚との間に100cm以上の空間を設けてください。

設置の方法(ゴム管の接続)

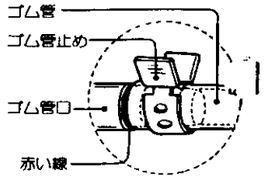
❶ゴム管は、折れ、ねじれのないよう、短かく(2m以下)し、ゆとりをもたせてください。

●器具の下を通したり、器具に触れないようにしてください。

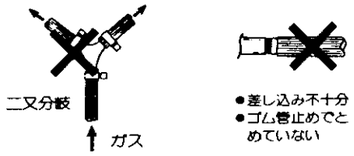


❷ゴム管口やゴム管内にごみなどが付着していないことを確かめてからゴム管口の赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実にとめてください。

●ゴム管止めは、別売品カガス会社、LPガス業者の指定品を使用してください。



●継ぎたしや、二又分岐は、絶対にしないでください。

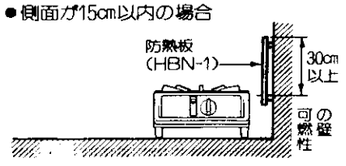


❸迅速継手を使用する場合、ガス元せんのゴム管口により接続具が異ります。
接続は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

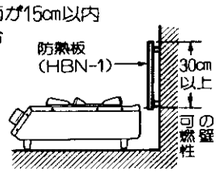
●防熱板による防火措置

壁面などとの間隔を15cm以上離せない場合、防熱板(別売品)を下図の要領で取付けてください。
なお、可燃性材料と防熱板との間には1cm以上の空間を設けてください。

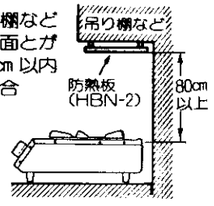
●側面が15cm以内の場合



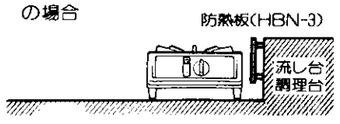
●後壁面が15cm以内の場合



●吊り棚などの下面とが100cm以内の場合

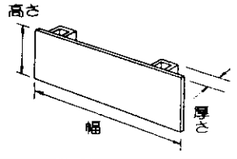


●器具の高さが流し台、調理台よりも低く、側面が15cm以内の場合



■防熱板の種類(ステンレス製)

	HBN-1	HBN-2	HBN-3
厚さ	1.5cm	1.5cm	1.5cm
高さ	40cm	40cm	10cm
幅	59cm	90cm	53.5cm



使用方法

ご使用前の準備と確認

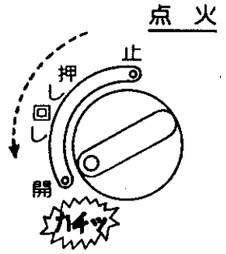
●器具周辺に、紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものが置いてないか、確認してください。

●器具せんつまみが「止」位置(縦向き)になっていることを確かめてから、ガス元せんを全開にしてください。

点火

❶なべ等をのせてください。

❷器具せんつまみをイッパイに押し、押したまま「開」の方向へゆっくり止まるまで回してください。
「カチッ」と音がしてバーナーに着火します。



❸着火を確かめてから数秒間(安全装置がセットするまでの時間)つまみを押したまま保持してください。

●途中で手をはなしたり、押す力をゆるめると安全装置がセットされず、火が消えてしまいます。

❹もう一度つまみをいっぱいに押しつけてから、静かに手をはなしてください。

●このとき火が消えた場合は、つまみを押している時間が不足しています。
もう一度点火操作をくり返してください。

ご注意

使用初めて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて着火しにくいことがあります。
このときは、2～3回点火操作をくり返してください。

●煮こぼれが炎口につまると、炎の状態が変わり、安全装置がセットするまでの時間が長くなることがあります。
煮こぼれしたときは、必ずバーナーの掃除を行なってください。(「日常の点検・手入れ」参照)

空気調節

空気調節器は、そのまま使用できるようにあらかじめ調節してありますので、調節の必要はありません。

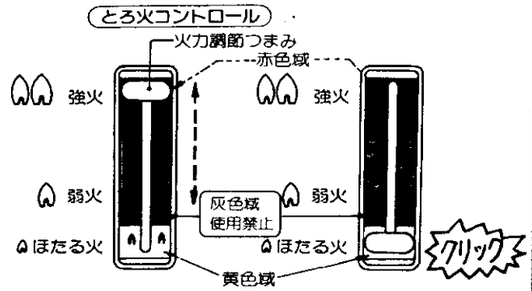
火力調節

火力調節つまみにより容易に火力調節ができます。

❶こんろ器具せんつまみを「開」の位置にしたまま、炎を見ながらゆっくりと火力調節つまみを動かしてください。

❷火力調節つまみが「強火」(赤色域)にあるときは火力が強く、下方(淡黄色域)に動かしていくにつれて弱くなります。

❸「ほたる火」(黄色域)へは、火力調節つまみを強く押し下げてください。火は小バーナのみになります。
なお、「灰色域」では、絶対に使用しないでください。



●火力調節つまみが「強火」位置以外にあるときは、再点火時自動的に「強火」位置に戻ります。

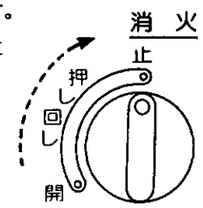
●火力調節つまみはゆっくり操作してください。素早く動かすと消火することがあります。

●弱火とほたる火との間の火力を使用したい時には、火力調節つまみを「弱火」位置にし、点火つまみを「止」方向にゆっくり回しながら調節してください。

消火

器具せんつまみを「止」方向へ止まるまで戻してください。ガスが止まって消火します。

●途中で消火しますが、必ず止まるまで戻してください。



ご注意

●再点火をする時や、「強火」から「ほたる火」に火力調節した後再度「強火」方向に戻す時は、操作後4～5秒たってから行なってください。すぐに行なうとゴーゴーと音がして燃えることがあります。

日常の点検・手入れ（日常の点検・手入れは、必ず行ってください。）

●不完全な修理は危険です。万一ぐあいが悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店またはガス供給業者にご相談ください。

●点検・手入れの前には、必ず器具せんとガス元せんを閉じてから行ってください。

1 点　検

●器具の周囲に燃えやすいものが置いてありませんか。

●ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、折れたりしていませんか。

●ゴム管が、ゴム管口の赤い線まで差し込まれ、ゴム管止めでしっかりと止めてありますか。

●バーナーボディ、バーナーキャップ、しる受け、ごとくなどが、正しくセットされていますか。

2 ごとく、しる受けの掃除

ごとく、しる受けは外して掃除してください。

3 立消え安全装置の手入れ

煮こぼれなどで汚れたときは、すぐにふきとってください。

汚れたままですと、性能が十分発揮できないばかりでなく、寿命も縮めます。

●炎検出部の先端を固いブラシなどでみがかないでください。
故障の原因になります。

ご注意

●**立消え安全装置の炎検出部に水滴や煮こぼれが付くと、点火しにくくなったり、バーナーの炎が消えることがあります。**
鍋の底に付いた水滴はふきとってからのせてください。

●**炎検出部に固いものなどぶつけないでください。**
取り付け位置がズレると点火しにくくなります。

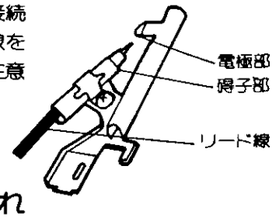
●**バーナーの炎は全周均一に出ていることを確かめてください。**
特に炎検出部付近の炎口がつまっていると、点火しないことがあります。

4 点火器の電極部の手入れ

電極部がよごれると点火しにくくなります。
しる受けを外した際に点検し、よごれているときは乾いた布等できれいにふきとってください。

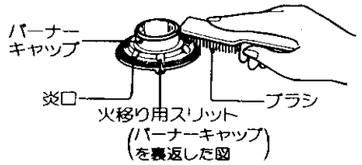
●電極部に手を触れたまま点火操作をしますと感電することがあります。注意してください。

●掃除の際、電極に接続されているリード線を引き抜かないよう注意してください。



5 バーナーの手入れ

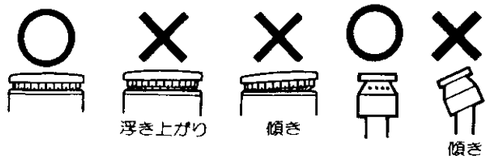
バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外してブラシやキリなどで掃除してください。特に火移り用スリットは細い針金などで確実に掃除してください。



煮こぼれで目づまりしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損する恐れがあります。

●バーナーキャップを水洗いされた場合は、完全に乾かしてから取付けてください。

●バーナーキャップは、浮き上がりや傾きのないよう正しく取り付けてください。



●よごれやこびり付きなどで、バーナーキャップが外れなくなってしまった場合には無理に外しても正常にセットできませんのでとりあえずそのまま（バーナーボディに付けたまま）で炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理（バーナの交換）を、お買い求めの販売店に依頼してください。

●バーナーキャップの炎口部の歯が薄くなってきたり、歯こぼれしたときは、新しい部品と交換してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

■異常または故障の場合の処置方法

原因＼現象	点火しない	バーナーに火移りしない	器具せんつまみから手を離すと消火する	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	異常な音がして燃える	火力が弱い	ガスのにおいがする	消火時大きな音がする	消火しない	使用中に消火する	消火しやすい	処置方法
ガス元せんの開け忘れか開きが不十分	●	●	●				●	●						ガス元せんを全開にする
ゴム管内に空気が残っている	●	●			●									点火操作をくり返す
ガスが少なくなっている（LPガス）	●	●	●					●				●		新しいボンベに替える
銘板に表示のガスと使用ガスが不一致	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		販売店に連絡する
ガス圧が適切でない	●	●		●	●		●	●				●		他の器具も同様のときは点検を依頼する
点火操作が適切でない	●		●											正しい点火操作をする
点火器電極部のよごれ	●													よごれをふきとる
バーナーの炎口づまり		●	●	●	●	●								掃除する
空気調節が適切でない		●	●	●	●		●			●		●		販売店に点検・修理を依頼する
立消え安全装置が作動												●		器具せんつまみを「止」にし、換気する
立消え安全装置の故障		●												販売店に点検・修理を依頼する
ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	●	●	●		●		●	●				●		折れ、曲がりをなおす
ゴム管のひび割れ、穴あき									●					新しいゴム管と交換する
ゴム管の接続が不完全									●					確実に接続する
バーナキャップ取付けが不完全		●	●	●	●	●	●			●		●		バーナーボディに正しく取り付ける
ノズルのつまり	●	●	●	●				●				●		販売店に点検・修理を依頼する
器具せんの故障	●		●						●		●			販売店に点検・修理を依頼する

■安全装置が作動したときの処置方法

1 使用中バーナーの炎が消えたときは

立消え安全装置が作動して自動的にガスは止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。
バーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを「止」にしてください。

2 再点火するときは

周囲に生ガスがなくなるまで、換気などしてから、点火してください。

長期間使用しない場合

●ゴム管を取りはずし、元せん側、器具側ともゴム管口にごみやほこりなどが入らないよう、キャップなどをしておいてください。

●器具は汚れをきれいに取り除き、ほこりやごみなどが入らないよう、ビニルをかけて、お買い求めになったときの箱などに入れ、湿気のないところで保管してください。